

<血液内科>

GIO (general instructional objective)

血液疾患（造血器腫瘍と非腫瘍性血液疾患）の患者の診療を通して、診断から治療（化学療法や造血幹細胞移植を含む）に至る基本的な診療の流れを理解するとともに、基本的な患者管理（輸血療法、感染症治療、緩和治療を含む）を習得する。

SBOs (specific behavioral objectives)

- (1) 血液疾患の患者の病歴・身体所見の把握と、記載ができる。
担当する代表的な疾患は、急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病、骨髄異形成症候群、非ホジキンリンパ腫、ホジキンリンパ腫、多発性骨髄腫、再生不良性貧血、各種の原因による貧血、特発性血小板減少性紫斑病などである。
- (2) 血液疾患の患者に対して適切なタイミングでの輸血が行える。
- (3) 好中球減少期の患者管理（感染症予防、G-CSF 投与、発熱性好中球減少症に対する感染症治療）が行える。
- (4) 栄養管理、水・電解質管理など基本的な全身管理が行える。
- (5) 化学療法の方法と副作用を理解し、それに対する予防と管理が行える。
- (6) 骨髄穿刺、腰椎穿刺を行うことができ、基本的な結果解釈ができる。
- (7) 造血幹細胞移植のベネフィットとリスクを理解し、造血幹細胞移植の適応に至る考え方が説明できる。
- (8) 患者・家族に対するインフォームドコンセントに参加し、病名・病状告知にあたっての配慮ができる。

LS1 (learning strategy 1) On the job training

- (1) 上級医の指導のもと、10～15 人程度の入院患者の診療を担当する。
- (2) 上級医の指導のもと担当患者の各種検査（骨髄穿刺、腰椎穿刺）等を実施する。
- (3) 部長回診において担当患者の症例提示を行う。

LS2 (learning strategy 2) 勉強会・カンファランス・学会など

- (1) 新患カンファランスで担当患者の提示を行う。
- (2) 上級医により開催される勉強会に出席する。(2～4 回程度)
- (3) 臨床的意義のある症例や病態に関して、上級医の指導のもとまとめ、学会等にて発表する。

週間予定

	午前	午後	夜間
月曜日		17:00~18:00 呼吸器カンファランス	
火曜日		13:30~15:00 部長回診 15:00~15:30 骨髄顕微鏡カンファラ ス	
水曜日		16:30~18:00 新患カンファランス	
木曜日			
金曜日		13:30~15:00 部長回診	

EV 評価

EPOC による評価方法（研修医⇔指導医）

※研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、EPOC 評価システムに入力すること